

令和6年度 第2回飯山市図書館協議会 会議録（要旨）

- 開催日 令和7年2月19日（水）午後4時～5時
- 開催場所 飯山市公民館206教室
- 参集者 委員6名
飯山市（事務局）6名

1 開会 図書館長

2 辞令交付

教育長より令和6年10月1日付けで就任の委員へ辞令交付

3 あいさつ

教育長：委員の皆さまには、雪の中、お忙しい中をお集まりいただき誠にありがとうございます。日ごろより市立飯山図書館の運営にご支援・ご協力をいただき心より感謝申し上げます。本は子どもだけでなく大人になっても物の見方を深めるほか、感性を豊かにしてくれるもので、図書館の果たす役割は大変大きいものと思っています。

図書館では、今年度寄贈いただいた絵本を活用して「おでかけとしょかん」などの事業を行いました。私も何度か見させてもらいましたが、親子で楽しそうに読み語りを聞いている姿を見てとても良い事業だと思っています。また、絵本作家のとよたかずひこ先生をお招きして親子で楽しめるおはなし会を開催しました。非常に好評で、サイン会も列が1時間以上続きました。このような事業を通して市民の皆さまに本をより身近に感じていただければ良いと思っています。また、今年度は絵本を読み語りしてもらおう人材を育てる「いい山えほんコミュニケーター養成講座」を開催し、毎回毎回良い講座を実施していただきました。その最終回にも参加させてもらいましたが、受講されている22名のお一人おひとりの方の3分間の読み語りがあり、それぞれの方の個性が生きるすばらしい読み語りをしていただき、来年度以降「おでかけとしょかん」等で活躍いただける姿が思い浮かばれこれからは楽しみだと思っています。

本日は令和6年度の事業報告や令和7年度の事業計画等を説明させていただきますので、委員の皆さまの率直なご意見を伺えればと思っています。

4 役員選出

会長 西田裕香子委員
職務代理 三井康幸委員

5 協議事項

（1）令和6年度事業報告について

①令和6年度事業報告 図書館係長説明 資料1～7ページ

②和歌山県有田川町視察報告 図書館係(司書)説明 資料8～21ページ

委員：なぜ有田川町へ視察に行かれたのか。

事務局：有田川町は絵本のまちで有名であることを清泉女学院短期大学の塚原先生からお聞きし、また市長からもどこかを視察するよう促されていたこともあり、図書館係職員や公民館の社会教育係職員と一緒に副市長や教育長にも参加いただいた。

会長：有田川町は人口が25,000人余の中で絵本読み聞かせ隊が約100人いるのは多いと思う。有田川町の杉本司書が言われるように、ひとづくりによって絵本をきっかけにしたまちづくりができてきているのかなと思う。絵本に関わる人が多い。

事務局：有田川町の絵本読み聞かせ隊は約100人で、絵本コンシェルジュは約50人となっているが町民だけではないとのこと。町外から受講される方も多く、活動に参加したいので申し込まれる方も多いと伺っている。

会長：有田川町は和歌山県では面積が大きいまち。

事務局：和歌山市から高速道路で30分くらいなので、長野市と飯山市くらいの距離。みかん畑が広がり、青空が印象的なまちだった。

委員：絵本コンクールは自分で作った作品を出して作家の方に審査していただくのか。

事務局：絵本コンクールは平成23年から行っていて、有田川町の杉本司書が知り合いの絵本作家に相談して始めたもので、今ではそのコンクールに入賞したりすると絵本を出版できるくらいになっていて、全国の絵本作家の卵の方がエントリーして競うまでになっている。書店に並ぶ絵本の帯にも有田川町絵本コンクール入賞作品などと表示されるくらいの権威あるコンクールになってきていて認知度が上がっている。やり続けることが大事だと思った。

③えほんコミュニケーター養成講座について 図書館係長説明 資料23ページ

会長：定員10名ということだが、申し込まれた方は全員が受講できたということか。

事務局：講師の塚原先生に相談したところ全員が良いということになった。

委員：私も受講して修了証をいただいた。とても良い講座で勉強になった。第2次・3次の養成講座を開いてもらえば、もっとたくさんの方が受講されて修了する人が増えていくと感じた。皆さん熱心で個性があり楽しい講座だった。最後にそれぞれで発表したけど、手作り紙芝居に歌を交えた発表もあって驚くくらいのを私もいただいた。これから先こういった活動に携わってもらえる人が増え、図書館も活気づいていき、絵本探しなどで図書館を訪れる人が増えてくるのではないかと思った。

会長：次回こういう講座があれば市民の皆さまなどに広くお知らせいただければ良い。

事務局：飯山のえほんコミュニケーター養成講座も市外の方もどうぞということで、今年度は栄村1名・木島平村1名・山ノ内町1名と3名の方に市外から来ていただいた。来年度も養成講座開催を予定しているので、図書館協議会委員の皆さんも申し込みをしていただければと思う。

会長：私は図書館の掲示で知ったが市外の方はどこで知ったのだろう。

事務局：地域の新聞にも掲載してもらった。

委員：日ごろ市外から戸狩小学校へ読み聞かせに来てくれている方の仲間うちでも盛り上がりあって、それぞれで申し込もうかということになり、そこに男性もおられて受講に向けた流れがあった。市外の方は普段から子育てや趣味のサークルでこちらと交流があり、往来は苦にならなかったということだった。

(2) 令和7年度事業計画について

- ①運営方針（案） 図書館係長説明 資料24ページ
- ②事業計画（案） 図書館係長説明 資料25～30ページ

(3) 寄贈図書の受け入れ進捗状況について

- ①笹本文庫 図書館係（司書）説明 資料6～7ページ
- ②上野氏寄贈本 図書館係（司書）説明 資料6～7及び31ページ

会長：上野氏からの寄贈図書の貸し出しが今年から始まったが、結構皆さん借りてらっしゃるなという感想を持った。

(4) その他

事務局：絵本で育てるまちづくり事業でロゴを作り、イベント時やえほんコミュニケーター等のユニフォームに印刷するなどして活用していくことを考えている。

6 その他

- (1) 委員の任期について 図書館係（事務）説明 資料表紙裏及び32ページ
- (2) 第3次飯山市子ども読書活動推進計画の策定について

事務局：第2次飯山市子ども読書活動推進計画は2023年（令和5年）までの期間であったが、第2次飯山市教育大綱が令和7年度に終了するので、その策定に合わせてまとめていくことを考えている。

会長：10年くらい前より図書館の利用者が少なくなったと感じている。もっと市民の皆さんの利用があれば良い。今回絵本を中心とした事業が組まれているので、絵本をきっかけに子どものときから絵本に関わりながら本と付き合っていくのが良いと思う。

職務代理：図書館を利用していきたい。

7 閉会 図書館長